

中 守 破 離



令和7年10月6日（月）第14号

ものづくりの魅力発見

～1年生が落款をつくりました～

10月1日（水）、広島県職業能力開発協会が主催する「ものづくりの体験講座」を1年生が受講しました。キャリア教育の一環として、ものづくりマイスター（1級技能士）の皆様に、ものづくりの技術と楽しさを教えていただきました。

今回のものづくりは、「落款（らっかん）」に挑戦しました。

「落款」は、作品の隅のほうに自分の名前の判を押したりしますが、「落款」を自分で彫る作業を「篆刻（てんこく）」と言います。中学校では美術の授業で経験することもあります。

広島県職業能力開発協会 岡崎様・飯田様の進行により、一級印章彫刻技能士である横田様、山本様、来山様、大竹様、藤川様に実技指導をしていただきながら、生徒たちは自分の名前の一文字を丁寧に彫っていきました。名前のどの漢字を選ぶのから始まり、印影をデザインし、デザインを石材に転写してから彫っていきます。石材は思ったより柔らかく、彫るときの感覚も楽しそうで、本当に熱心に作っていきました。時間に余裕がある生徒は、持ち手の部分まで彫って、あっという間に2時間が過ぎていきました。

早速作った「落款」は、10月11日（土）に行われる文化発表会に展示するまで準備できました。保護者の皆様には、ぜひ1年生の力作を見に来てください。

見たり聞いたりするだけでなく、今回のように「本物」に触れることは心を動かされます。まさに、プロフェッショナルから学び、感動することができた大変貴重な経験になりました。

講師の皆様、丁寧なご指導をしていただき、本当にありがとうございました。





第 78 回呉市立中学校美術作品展

第 78 回呉市立中学校美術作品展が呉市役所 1 階多目的室で行われました。毎年この美術作品展には、呉市内中学校の美術の授業や美術部などの活動による様々な力作が展示されています。今年も 9 月 20 日（土）から 25 日（木）までは風景画と小立体作品などが、26 日（金）から 30 日（火）までは平面作品と小立体作品が展示されました。

本校からも多数の作品を出品しましたが、他校の作品に引けを取らない作品ばかりでした。1 年間の美術の時間は、1 年生が 45 時間、2・3 年生は 35 時間であり、週 1 時間しかありませんが、生徒の皆さんは集中し楽しく作品を作ることによって自分の思いを表現しています。これからも作品作りを楽しんでください。

